

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和03年01月22日(金)

事務事業		交通等遺児支援事業		担当課	こども青少年課	担当係	子育て支援係	管理番号	3503	
第2次総合計画				事業区分	■ 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	→ 対象拡大 サービス拡充	有 <input type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	
	行計	大項目	200001	健康でいきいきと暮らせるまち（子育て・保健・福祉）	根拠法令 個別計画等	深谷市交通等遺児福祉手当条例／条例施行規則				
	政画	中項目	200001	健やかに成長できるまちづくり						
分施	小項目	200001	子育て支援の充実							
事業概要		本事業は、交通等遺児（交通事故・病気などで遺児となった義務教育修了前の子ども）を養育している者を対象として、手当および小・中学校入学時に就学支度金を支給することにより、将来への希望を与え、健全な育成を図ることを目指すものである。（交通等遺児 一人につき月額3,000円・ふっかちゃん交通等遺児就学支度金 一人につき30,000円・交通遺児就学支度金 一人につき10,000円）								
目的 ※何のために		交通等遺児の健全な育成を図ることを目的とする。								
対象 ※誰・何を対象に		交通等遺児を養育している者								
手段 ※どのように		手当を支給する（所得制限なし、申請が必要）								
成果 ※何を求めるか		手当を支給することにより、将来への希望を与え、健全な育成を図る。								
執行体制		■ 市職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO 民間団体 <input type="checkbox"/> その他（                      ）								
事務事業を構成する 予算事業		会計区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	03	民生費	02	児童福祉費	01	児童福祉総務費	交通等遺児福祉事業	3,351,000
		一般会計	03	民生費	02	児童福祉費	01	児童福祉総務費	交通遺児就学支援事業	0
		一般会計	03	民生費	02	児童福祉費	01	児童福祉総務費	ふっかちゃん交通等遺児就学支度金給付事業	450,000
			00		00		00			0
			00		00		00			0
本事業の 主な業務		・ 交通等遺児福祉手当の支給						・		
		・ 交通遺児就学支度金の支給						・		
		・ ふっかちゃん交通等遺児就学支度金の支給						・		
		・						・		
		・						・		
		・						・		

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	5,210,000	5,060,000	4,760,000	4,148,000	3,850,000	
	決算額	4,182,000	4,492,000	3,801,000	0	0	
	財源内訳						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
人件費	他特定財源	210,000	730,000	450,000	609,000	610,000	
	一般財源	3,660,000	3,762,000	3,351,000	3,539,000	3,240,000	
	従事職員数(人)	0.26	0.20	0.23	0.20	0.20	
	人件費相当試算※1	2,022,540	1,556,400	1,864,150	1,629,600	1,629,600	
(総事業費試算)		5,892,540	6,048,400	5,665,150	5,777,600	5,479,600	

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。



# 事務事業評価表

## 6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	交通等遺児支援事業	担当課	こども青少年課	担当係	子育て支援係	管理番号	3503
<div>■ ① 現状のまま継続 □ ② 見直して継続 □ ③ 拡充・重点化（コスト投入） □ ④ 目的達成による終了 □ ⑤ 廃止を検討</div>			<div>□ 委託化等の検討 □ 成果向上のための改善 □ 効率化のための改善 □ 事業規模の縮小 □ 他の事務事業と統合</div>				
			評価の内容説明 遺児の健全育成を図るため、手当の支給を現状のまま継続とする。また、修学する際の経済的負担の軽減を図るため、支度金の支給も現状のまま継続とする。				
上記を実施するための具体的な取り組み内容は？			評価者	こども青少年課長 栗田 誠			

## 7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	特になし
--------	------

## 8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	
-------	--

## 9. 評価指標グラフ

